社会福祉法人楽友会ほのぼの堀之内

つなぐ

平成31年3月11日発行 第12号

http://www.rakuyuukai.com

ご利用者×ご家族×地域 みんなが安心できる場所

/[™] 042−682−3186

運営推進会議を開催いたしました

ほのぼの堀之内では、さる、平成31年2月23日土曜日、由木中央市 民センターにて、平成30年度第2回ほのぼの堀之内運営推進会議を開催いたしました。



運営推進会議とは、ご利用者やそのご家族、 地域住民の代表、行政職員または高齢者あんし ん相談センター職員(地域包括支援センター)、 認知症デイサービスに知見を有する人で構成され、事業所に要望や助言を伺うとともに提供して いるサービスを知っていただきながら、サービス の質の確保と向上を図ることを目的としておりま

す。認知症対応型デイサービスは、平成28年度から年に2回程度の開催が義務付けられました。



今回の運営推進会議では、地域住民の 代表として、松木小学校PTA会長、行政 関係職員として八王子市役所福祉部高 齢者福祉課職員と八王子市高齢者あん しん相談センター南大沢職員にご参加い ただきました。また、ご利用者の家族とし て、3名のご家族に参加いただきました。

具体的な会議の内容は、①事業所やサービスの概要、②データで見る運営状況、③下半期(平成30年9月から)の活動報告、④平成31年度の取り組み、⑤意見交換、⑥八王子市からのお知らせとなりました。

⑤の意見交換では、近隣の保育園や小学校と協同して地域交流の拡充、外出活動に関する意見等では、地域住民の代表者を中心にご意見

や希望、具体的な取り組みの提案をいただきました。ご意見をもとに、ほのぼの堀之内に関わる全スタッフが共有をして地域交流の拡充をはかりたいと思います。

なお、詳細な議事録は、改めて、ご利用者の皆さまに配布いたします。



●体験農園 春・夏野菜の植え付け●

ほのぼの堀之内では、機能訓練の一環として、農園を活用した機能 訓練を実施しております。今回は、春野菜の作付けのご様子を報告いた します。





←1か月間、休耕していた畑に 鍬をいれて、土を耕しておりま す。鍬を持ち、両足で踏ん張り ながら鍬を入れる作業は、何 にも代えがたいリハビリです。

この場所は、ニンジンを植える場所で6月下旬頃に収穫できる予定です

→当法人理事長から提供されたエンドウ豆の苗を植えております。エンドウ豆は日当たりのよい畑の傾斜地に植えました。目の前に張ってあるロープに蔦を巻き付ける予定です。収穫は、7月上旬の予定です



●4月からのほのぼの堀之内●

4月から新年度が開始いたします。ほのぼの堀之内では、以下の変更 がございます。

1 土曜日の開所

4月から土曜日の開所いたします。提供時間等の変更はございません。入浴も可能です。「土曜日も通いたいなぁ」と思われましたら、担当のケアマネジャー、または、ほのぼの堀之内高田までお尋ねください

2 サービス提供体制強化加算の算定開始

4月から「サービス提供体制強化加算 I ロ」の算定を開始いたします。この加算は、通常の人員体制よりも多くの介護職員を配置しており、介護護職員のうち、40%以上介護福祉士の有資格者を配置している事業所にいただける加算です。この加算により、介護保険の自己負担が1割負担の方は利用毎約13円(2割負担/約26円、3割負担/約39円)が加算されます。ご不明点等は、ほのぼの堀之内高田・西、または、担当のケアマネジャーまでお尋ねください

●編集後記●

『つなぐ(第12号)』はいかがでしたか。さる、1年前の3月1日にこのほのぼの堀之内が開所いたしました。当時、誰もいないデイサービスでとても寂しく思いました。それが1年経過して、3月1日当日は10名のご利用者が通所されました。その光景を見て、ひとり1年を振り返りました。

今後とも、ほのぼの堀之内を宜しくお願い申し上げます。 (高田)